



22

# 医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院 上尾中央医療グループ

## 研修プログラム の特色



今後数十年の医師としての人生を歩んで行くことをふまえ、医師としてのプロフェッショナルリズムに多角的な視点で気づくこと、そしてそれを自分のものとするを主眼としたプログラムです。そのために総合診療科研修・救急科研修 & 当直研修・地域医療研修を3本の柱とし、自ら責任をもって医療を行う姿勢を重視しています。総合診療科では主治医と同等の立場で診療を行うことで、医師の責任の重さや決断の難しさを学びます。救急科・当直研修では2年間にわたって搬送患者のファーストタッチを行い、どのような状況であっても冷静にかつ適切に判断する力を磨いていきます。地域医療研修を北海道・岡山県・鹿児島県などで行うへき地・離島研修としていることは本院の研修の特にユニークな点です。地域の医療ニーズ、訪問診療などの地域に密着した医療、医療資源の少ない地域での医療の特徴を学び、さらに異なる環境での研修を通じ医師としての自信を深めるチャンスとなります。

### 上尾中央総合病院臨床研修プログラム (募集定員 19名)

プログラム例	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目	内科系(糖尿病内科・血液内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・脳神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科)から2科以上選択 ※総合診療科は12週必修(24週)						救急部門(12週)		麻酔科(8週)		外科(4週)	
2年目	外科(4週)	小児科(4週)	産婦人科(4週)	地域医療(4週)※1	精神(4週)※2		選択期間(24週~28週)					

**必修科目** 内科系24週、救急科12週、麻酔科8週、外科8週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週  
**選択科目** 24週~28週(糖尿病内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、病理診断科、地域研修)

※当院で決めた必須科目の外科については、4週は外科を必須として4週については外科系(外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科)の中から選択できることとする。

※1 地域研修は必修4週、選択4週まで(合計8週選択可能)

※2 精神科研修は埼玉県立精神医療センターで実施する。

## 研修医の 処遇

**給与** 1年次: 40万円/月 2年次: 43万円/月  
**手当** 当直手当、日勤手当  
**保険** 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険(病院において加入)  
**勤務時間** 9:00~17:30  
**当直** あり(4回程度/月)  
**休暇** 有給休暇(入職3カ月後:3日 6カ月後:7日 初年度:10日支給) その他(特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業)  
**宿舎** あり:当院規定(5万円を上限として、家賃半分を支給する※上尾市内市内在住限定)  
**その他** 処遇:常勤、健康診断:年2回、医師賠償責任保険:病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加:可、参加費用支給有、医療費見舞金制度、24時間保育園、保養所(軽井沢/那須/熱海)、院内旅行、その他

## 主な臨床研修 協力病院・協力施設

- 埼玉県立精神医療センター
- 医療法人 徳洲会 徳之島徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 日高徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 帯広徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 与論徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 石垣島徳洲会病院
- 社会医療法人 緑社会 金田病院
- 小豆島中央病院
- 社会医療法人 哲西会 哲西町診療所
- 市立輪島病院 他

医師数(研修医除く) 248名(うち指導医数105名)

病床数 733床

研修医数 1年目19名 2年目18名

昨年度マッチング受験者数 95名

**研修医の主な出身大学** 北海道大学、旭川医科大学、札幌医科大学、弘前大学、秋田大学、岩手医科大学、山形大学、東北大学、福島県立医科大学、東京医科歯科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、日本医科大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学、帝京大学、順天堂大学、杏林大学、日本大学、昭和大学、埼玉医科大学、獨協医科大学、聖マリアンナ医科大学、北里大学、東海大学、群馬大学、山梨大学、筑波大学、新潟大学、金沢大学、富山大学、福井大学、浜松医科大学、名古屋大学、名古屋市立大学、信州大学、藤田保健衛生大学、近畿大学、滋賀医科大学、三重大学、川崎医科大学、島根大学、徳島大学、産業医科大学、大分大学、熊本大学、佐賀大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、瀋陽大学、Shahid Beheshti University

**診療科** 内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、糖尿病内科、膠原病内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、肝臓内科、アレルギー疾患内科、感染症内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、心療内科、小児科、産婦人科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、肝臓外科、乳腺外科、呼吸器外科、気管食道外科、肛門外科、内視鏡外科、小児外科、泌尿器科、女性泌尿器科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、眼科、形成外科、美容外科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、総合診療科(院内標榜) 臨床遺伝科(院内標榜)

1日平均外来患者数 1,471.60名

1日平均入院患者数 576.5名

**主な認定施設** 地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、ロボット心臓手術実施施設、ダヴィンチ手術症例見学施設(前立腺摘出術、膀胱全摘除術、ロボット支援下膵頭十二指腸切除術、ロボット支援下膀胱尾部切除術)、埼玉 DMAT 指定病院、他

## POINT! 本院の魅力

### 『自立』『責任』『信頼』

本院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

『自立』救急外来では年間約7,000台の救急車を研修医たちがファーストタッチで捌きます。

指導医は裏方の役目に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。

『責任』総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。

治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。

『信頼』地域医療研修では自ら外来枠をもちます。

患者さんひとりひとりと密接な関係性を構築することが求められます。

◎「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めています。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。

臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5~10年目の若手医師、看護師、メディカルスタッフが研修医ひとりひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。



## 研修責任者 から



プログラム責任者  
黒沢 祥浩

本院の研修医たちのゴールは「たくましさ」です。未来の自分が、どのような苦境にも負けることなく、周囲からの信頼を得て医療を遂行するためのスキルです。そして、それは生涯にわたって彼らを助けてくれることでしょう。

私たち指導医は彼らの「たくましさ」の獲得を援助します。「自ら考え行動する」という研修医の姿勢を見守り、ときに手を差し伸べるのが私たちの大切な役割です。研修医たちはもがきながら多くを学び、成長し、そして答えをみつけたときに達成感と明日へのモチベーションが生まれていきます。救急科研修でくじかれ、総合診療科研修で悩み、離島へき地研修で新たな発見をしていく。ダイナミックな研修プログラムです。

## 先輩研修医 から



研修医 1年目 鮎井 千佳乃

「自分もこんな先輩方のように自分で考え動く研修医になりたい!」学生の時に上尾中央総合病院の救急見学で一人前の医師として患者さんの治療にあたる研修医の先生を見て強く思い、自分もこの病院で働きたいと思ったことが当院を志望した理由でした。マッチングでの採用の通知が来た時は非常に嬉しく、自分も先輩のようにバリバリ働く研修医になるぞと意気込み、働き始める日を心待ちにしていました。しかし、採用して頂いて働き始めて1ヶ月が経った時点では大分みなさんと同じようにその想像は大きく打ち砕かれました。医学的な知識はおろか、病棟のオーダーやカルテの使い方も戸惑い時間がかかってしまい、上級医や先輩研修医の足を引っ張っていることに日々自省する毎日を送っていました。

ただ、こんな私に対しても「自分も働き始めた時は何もわからなかったし気になっていいよ。」といった優しい声や、「焦らなくても大丈夫。2年間かけて医師としての基本を学んでいってもらえるよう指導するから大丈夫だよ。」という励ましの声に毎日救われています。本院の研修では研修医が率先して手技や診察を行う体制であるため環境としてはどちらかといえばハードなものだと思います。しかしながら優しく教え導いてくださる上級医や、困ったことに対して親身に相談のってくださる先輩研修医、そして個性豊かながら皆熱意を持って日々励まし支え合いながら切磋琢磨していきける同期に囲まれた環境でもあります。この恵まれた環境で日々着々と研鑽を積み重ねていけばきっと良い一人前の医療者となれどと確信しています。これからの研修医生活で大きな壁に直面し、挫折や無力感を感じることはきっと何度か訪れると思います。一つ一つと向き合っていくことで乗り越えて、より良い研修医、ひいては一人前の医師となれるよう日々頑張っていきたいと思っています。医師としての最初の2年をこの病院で歩み始めたいと思います。

研修医 1年目 石井 佳大

「この病院で初期研修をすれば、こんなカッコイイ医師になれるのか。」一医学科6年次、当院を見学した際に、初期研修医の先輩の方々が機軸凝縮に動き動く姿を見て、自分が思ったことです。自分も先輩方のような医師を目指すべく、期待胸を躍らせながらこの病院に入職しました。入職してから1ヶ月、胸の高鳴りは止むことを知りませんが、同時に、自分の不甲斐なさに愕然とする時間もとても増えました。この病院では、救急科で初期研修医がファーストタッチし、内科では自分の患者さんを持ち、病態管理を担当したりなど、初期研修医の裁量はとても大きいです。それに合った責任が必要となります。一つできることが増える、できないことが十あることを知り、その度に、上級医や看護師を頼ってばかりで、悔しさの中で一日が終わることも少なくありません。

当然のことですが、能動的に勉強し、積極的に診療に参加する姿勢が、初期研修医としてステップアップするためには必要不可欠です。刻一刻と変化する現場において、臨機応変に対応し、患者さんの不安や苦痛を取り除くべく、治療に当たることのできる、「カッコイイ医師」になるためには努力を欠くことはできないのです。初期研修医として当院のよいところを自分が一番に挙げれば、そのような姿勢を持っている同期の仲間が、18人もいることです。またその仲間は全国各地から入職してくるので、医学科6年間で学んだ千差万別の知識を共有し、ディスカッションしながら、切磋琢磨して医療に従事することができます。辛いことは多々ありますが、このような仲間と共に歩むことで乗り越えることができるだろうと感じています。「明日も仕事か。」入職してからしばらく、毎夜毎夜そう思いながら眠りについていました。ただ、この前できなかったことが今では少しずつできるようになり、確実に先月の自分より一歩成長している実感を味わえてきています。最近では、この日々の微細な成長に、自分の向上心を掻き立てられ、毎夜毎夜「明日も頑張ろう。」と思うように変化してきました。これから幾度となく、壁にぶち当たるとは思いますが、その度、この素晴らしい環境で、素晴らしい仲間と、「カッコイイ医師」を目指し、日々精進していきます。



## 女性医師 支援コーナー



当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、ひとりひとりの研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

- 妊産婦への配慮 -
- 【妊娠中】母体保護の観点から、妊婦中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務の希望があれば臨床研修センター長 および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、土曜日の午後や日祝日の日中等に研修を行っても良いこととする。
- 【育児中】育児中の当直は研修医および児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数を決することとする。
- ・短時間勤務制度・院内保育の設置・当直免除
- ※ 実績あり。現在も当院で勤務しています。

## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【見学】ホームページ上の初期臨床研修、見学申し込みはフォームよりお申込みください。  
【2023年度・初期臨床研修プログラム 説明会】2023年3月25日(土) 14:00~17:00(予定)  
※医学生もご参加いただけますのでお気軽にお問い合わせください。

連絡先	上尾中央総合病院 人事課 秘書係(臨床研修担当)
住所	〒362-8588 埼玉県上尾市柏座1-10-10
TEL	048-773-1111(代表)
FAX	048-773-2952
E-mail	ishi_jinji@ach.or.jp
URL	http://www.ach.or.jp
アクセス	JR高崎線 上尾駅西口より徒歩3分

